

Kawaguchiko 01

河口湖畔 | 中古物件

湖に対して間口60m！の希少価値



特徴

600坪を超える敷地に、60mの間口が河口湖に面するという贅沢な絶景地。

テラスから歩いてそのまま河口湖の岸へ行くことができ、眼前に水面が広がるのはオーシャンビューと同じです。しかしその大きく穏やかな水面は、海のそれとは似て非なるもの。また、徒歩0分の栈橋から、物件に付帯するモーターボートで湖を自由にクルージングしたり、フィッシングを楽しむこともできます。近隣にゴルフ場が7か所あり、ゴルフライフも満喫できる環境です。

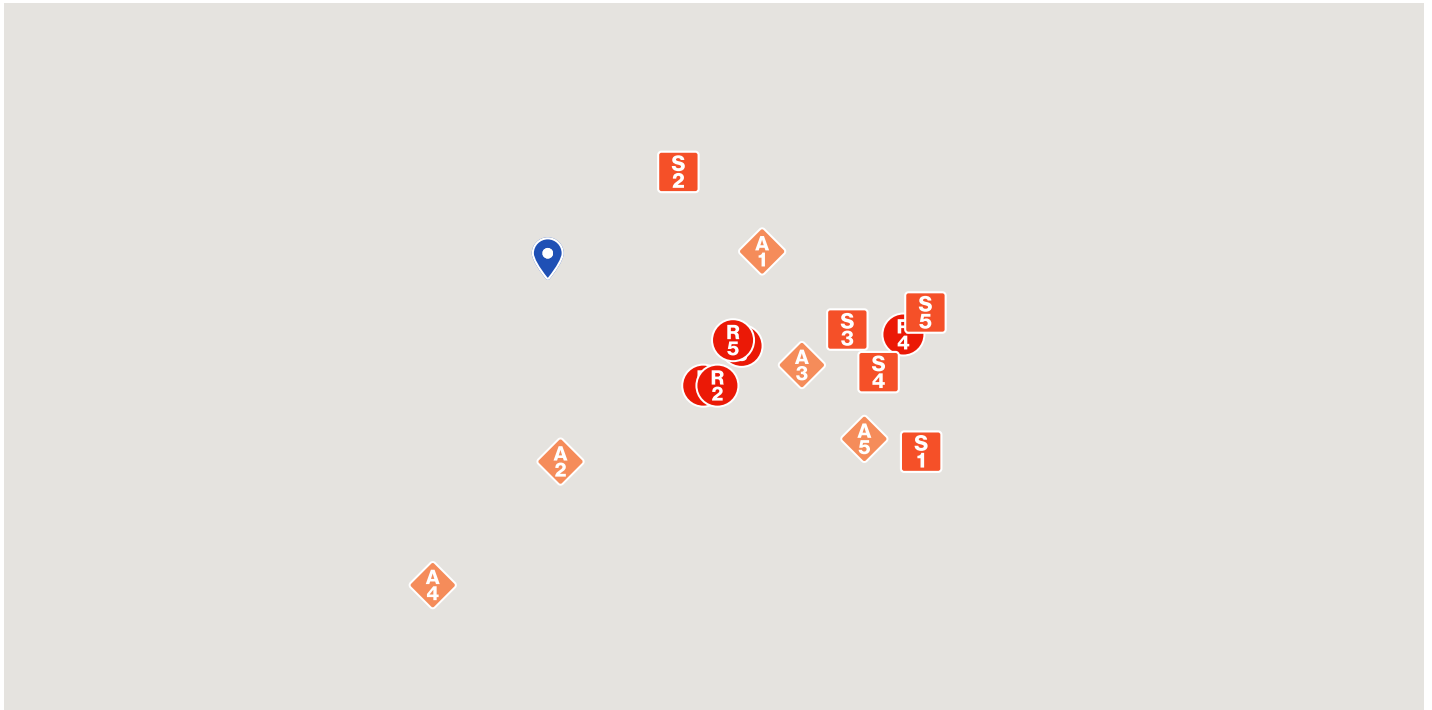
概要

所在地 山梨県南都留郡富士河口湖町長浜
構造／階数 木造／2階建て

敷地面積 約619坪
延床面積 約592㎡

エリア情報

近隣店舗・施設



- R1 Miura料理店（フランス料理）
- R2 オステリア ドラマティコ（イタリア料理）
- R3 富士山パンケーキ（軽食）
- R4 西裏地区（飲屋街）
- R5 ほうとう蔵 歩成（ほうとう）

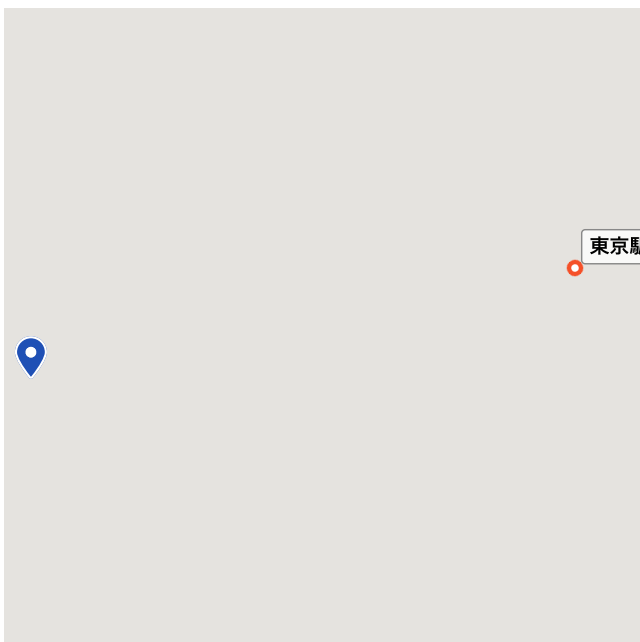
- S1 いちやまマート（スーパー）
- S2 Lake Bake（パン）
- S3 大西肉店（精肉）
- S4 FJワインセラー（ワイン）
- S5 BRIGHT BLUE BREWING（ビール）

- ◆ A1 河口湖湖上祭（花火）
- ◆ A2 鳴沢ゴルフ倶楽部（ゴルフ）
- ◆ A3 富士急ハイランド（遊園地）
- ◆ A4 ふじてんスノーリゾート（スキー）
- ◆ A5 北口本宮富士浅間神社（神社）

アクセス情報

東京駅 ～ 現地 約145km

- 車 約2時間（首都高～中央自動車道～国道139号～県道714号）



滞在イメージ

まだ日が高くないが、5km離れた対岸はもうそろそろ賑やかになっている頃だろう。

そこでの喧騒が嘘のように、ここでは静謐な時間と空気が流れている。だからと言って寂しさが支配しているわけではなく、ぬくもりを感じるような、まるで **Bill Evans** が弾くピアノの音のように優しい空気に包まれている。ひとくちに河口湖と言っても、いろいろな顔を持っているのだ。

湖が海や川と大きく違うのは、水面（みなも）だと思っている。海や川の水面には起伏ができ、波立ち、場合によっては白泡が見える。しかし、この大きな湖面には波ひとつなく、紺色の巨大な鏡となっている。時折、水鳥が着水すると波紋が広がるが、まもなく1枚の鏡に戻る。

その鏡を大きく傷つけないよう、そうっとモーターボートで栈橋から離れ、湖の中央に向かってゆっくりと滑るように船を進ませているといつも思うのだ。午前中の静寂な湖面は自分の内面を反射しているのではないかと。

心穏やかな時は、湖面を見ても心が揺れ動くことはない。しかし、自分では意識していなくても、感情の起伏がある時は水底に吸い込まれそうになり、心がざわつく。そのような時はボートの上でひとり静かに鏡と向き合い、心が落ち着くまでじっくり自分と向き合う。湖を自分ひとりのために使っているような、とても贅沢なひとときだ。

今、湖面を静かに走らせているボートの中には、2組のタックルがある。まさかこの齢からバス釣りを始めるとは思わなかったが、湖面が自らとの対話をするものなら、ブラックバスは自然と対話をするための手段のひとつだと思っている。

心が落ち着いた状態で五感を研ぎ澄ませ、1匹のバスの気配を感じ取る。そしてそこへゆっくりと船を近づけ、ルアーを投げ込む。1回のキャストでヒットすることはまずないので、どうしたら岩間や木陰から魚をおびき出せるかを考えながら、何度もキャストを繰り返し、ルアーで魚を誘う。

水中に潜むバスが、湖面を泳ぐルアーに興味を持ち、隠れ家から飛び出して追いかけるようになるか、ひたすら集中し、イメージする。そしてバイトし、釣り針から逃げようと身をくねらせ、陽の光が横っ腹に当たってきらめく瞬間、自分の心が一気に静から動へ躍動し、高揚する。サイズは関係ない。ランカーサイズでなくても、何年も自然の中で生き抜いてきた猛者だ。その個体との対決を制することが、自分にとって大切なのだ。

さて、今日の第1投目は、どちらのタックルにするかな。

物件概要



真上から（赤枠内：敷地）



湖上から別荘と、付属のモーターボートや栈橋を望む



別荘の外観



付属のモーターボートと栈橋

詳細情報

所在地 山梨県南都留郡富士河口湖町長浜
価格 ask
土地権利 所有権
現状 貸別荘
取引態様 仲介
備考 ー

敷地面積 約619坪
指定建蔽率 70%
指定容積率 200%
延床面積 約592㎡
構造／階数 木造／2階建て
新築年代 2014年